

# CINEMASTER ヘルプガイド

Christie® CineMaster™ シネマ・カルキュレータへようこそ。このツールは各設備特有のニーズに合ったプロジェクターとレンズ、ランプの決定、さらにプロジェクターの種類、画面のコンフィギュレーション、輝度の仕様なども選定できます。

まず入力フィールドを使って、セットアップしようとしている画面を正しいコンフィギュレーションに設定します。このとき  マークで示したヒントを参考にしてください。入力に応じて出力がリアルタイムに表示され、画像解析結果とコンフィギュレーションに基づいた装置の推奨も表示されます。CineMasterは推奨するソリューションを表示しますが、製品ドロップダウン・メニューからほかの有効なソリューションを選択することもできます。カルキュレータは出力テーブルのすべての選択肢を解析し、適合するソリューションを  マークで示します。さらに注意が必要なときは  マークを表示し、選んだ選択肢が設定している画面に不適合の場合は  アイコンが表示されます。

## 結果を保存しますか？

「Exported」ボタンをクリックすると結果をPDFフォーマットで保存します (図1)

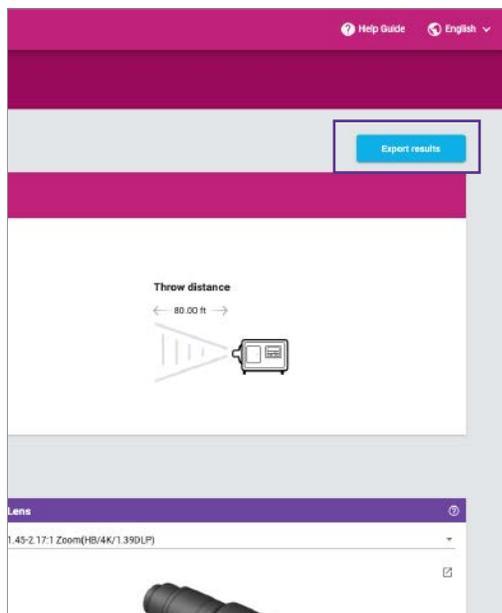


図1. 「Exported」ボタンをクリックすると結果をPDFフォーマットで保存します

## お見積もりをご希望ですか？

「Request pricing」ボタンをクリックすると、短いフォームをご記入いただく画面に移ります。そこからChristieのシネマ販売担当者につながります (図2)。

## サポートをご希望ですか？

デスクトップからカルキュレータをご利用の場合はこちらから [チュートリアル動画](#) をご覧ください。

カルキュレータについて質問がある方や、最適な装置でホールを装備したい方はChristieのテクニカルサポート ([cinema.support@christiedigital.com](mailto:cinema.support@christiedigital.com)) までご連絡ください。

【注意】数値はすべて参考値です。仕様は通知なく変更されることがあります。

図2. エクスポートの結果]タブで、「価格の見積もりをお問い合わせください」のチェックボックスをクリックします。

### 光強度の危険距離

ChristieのRGBレーザー・プロジェクターはすべて、危険な光および熱の放射の可能性があるためIEC 62471-5:2015標準のリスクグループ3に分類されます。不注意により照射を受けると次の危険があります。

！永久または一時的な失明の危険！

光線への直接暴露は絶対に避けてください。IEC 60825-1:2014およびIEC 62471-5:2015の分類は、それぞれクラス1製品、リスクグループ3となります。

永久または一時的な失明の危険！

オペレーターは光線の危険距離範囲内への出入りを制限するか、観客の目が危険距離内で光線に暴露することのない高さに製品を設置しなければなりません。危険ゾーンは、人が立つことを許される床面から米国の設備では最低2.5メートル、米国外では最低2.0メートルとし、水平方向には最低1.0メートルの余裕を設けるものとします。

超強光！

製品の光軸上に反射する物を置かないでください。